

専門家に聞く ココだけの話

第19話

Love&Happiness株式会社
代表取締役 プロフィット・コーチ
小林 剛



“絶対に潰れない会社”になるために社長が押えるべき財務知識

第2回 全部原価計算の罠：経営判断を誤るリスクを見逃すな！

製造業における原価計算について、考えてみます。

経営判断に決算数字を活用するなら、制度会計上の伝統的に使われている「全部原価計算方式（税務申告用）」は止めて、「直接原価計算方式（経営管理用）」を取り入れ、経営（カネ儲け）に活用するようにならなければならないと思います。

全部原価計算方式（税務申告用）とは？

製造原価＝作るのに全部でいくらかったか？ 原価計算に労務コスト（労務費、製造経費等）が含まれます。そのため、売上に関わらず、作れば作るほど（期末の材料在庫、仕掛品在庫、製品在庫が多ければ多いほど）利益が出るという現象が発生します。

＊総費用＝（製造原価＝材料費＋労務費＋製造経費）＋（販売費及び一般管理費）

直接原価計算方式（経営管理用）とは？

製造原価＝基本的に原材料費のみ。戦略的に数字を捉える利益管理に使われます。製品原価を計算するため、企業の実態が把握できる。期末の在庫が多い少ないに関わらず、売上が変わらなければ利益は変わりません。製造に係る係らないか関係なく、売上、個数の増減に比例していくもののみを原価として捉えるということです。

＊総費用＝（変動費）＋（固定費）

・変動費：材料費、外注（加工）費

→売上（生産量）、個数（数量）に比例して増減する費用のこと

・固定費：製造原価から材料費、外注費を除いて、販売費及び一般管理費を足したもの

→売上（生産量）、個数（数量）の増減に関係なく、期間に比例して発生する費用のこと

（ポイントは、総費用を変動費と固定費に分解することです）

事例で見てみましょう！

【事例】

我が社は、自動車製造販売会社を経営しております。

今期10台（@30万円）製造し、5台（150万円@30万円）販売しました。

コストは以下のとおりです。

材料費：100万円（1台当たり10万円）

労務費：20万円

一般管理費：50万円

全部原価計算での利益は40万円、一方直接原価計算での利益は30万円です。この結果は、いったい経営にどのような影響をもたらすのでしょうか？ 考えてみてください。

今期の決算書上では、利益は出ているように思えますが、もしかしたら、そんなに儲かっていないのかもしれない。

直接原価計算方式（経営管理用）で、事業経営を考えるメリットについて、述べます。

【全部原価計算の場合】			【直接原価計算の場合】		
期首 在庫 (0)	合計 (10)	今期 (OUT) 売上原価 (5)	期首 在庫 (0)	合計 (10)	今期 (OUT) 売上原価 (5)
0			0		
労務費 20万円	120万円	60万円	労務費 20万円	100万円	50万円
今期 (IN) 材料仕入 (10)	平均単価 (@12)	次期繰越 (5)	今期 (IN) 材料仕入 (10)	平均単価 (@10)	次期繰越 (5)
100万円		60万円	100万円		50万円

* 上記図は、会計恒等式という。期首+労務費+今期IN=今期OUT+次期繰越

【全部原価計算(税務申告用)】

損益計算書 (P/L)

売上高	150万円(@30万円×5台)
売上原価	- 60万円(@12万円×5台)
粗利	90万円
一般管理費	- 50万円
利益	40万円

製造原価
材料費 50万(@10万)
労務費 10万(@2万)

【直接原価計算(経営管理用)】

損益計算書 (P/L)

売上高	150万円(@30万円×5台)
売上原価	- 50万円(@10万円×5台)
粗利	100万円
労務費	- 20万円
一般管理費	- 50万円
利益	30万円

1. 経営判断がしやすい

- ・直接原価計算では、固定費と変動費を分けて扱うため、販売量や価格の変動が利益に与える影響を明確に把握できます。
- ・限界利益（売上高－変動費）が分かることで、製品や事業の採算性を迅速に評価できます。

2. 損益分岐点分析に適している

- ・固定費と変動費を分離しているため、損益分岐点（Break-Even Point）の計算が簡単です。
- ・経営目標や価格戦略を立てる際に非常に有効です。

3. 意思決定の迅速化

- ・新製品導入や販売促進キャンペーンなどの短期的な意思決定では、変動費のみを考慮すればよいいため、計算がシンプルで迅速な意思決定が可能です。

4. 在庫評価が保守的

- ・全部原価計算では固定費も在庫に含まれますが、直接原価計算では含まれないため、在庫が利益に過大な影響を与えにくくなります。
- ・これにより、在庫増減に伴う利益のブレを抑えることができます。

5. 業績評価の明確化

- ・限界利益を基準に評価するため、各部門や製品ラインの収益性を明確に把握できます。
- ・これにより、改善すべき分野を具体的に特定することができます。

直接原価計算方式（経営管理用）は、特に短期的な経営判断や利益計画において強力なツールです。積極的に活用しましょう！

Love&Happiness株式会社

〒167-0042 東京都杉並区西荻北3-16-4 小美濃本社ビル 3階 TEL:090-3342-7910 E-mail:baco@loveandh.com